

# 調査・研修等計画届出書

令和2年11月10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 小澤 勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 2年 11月 18日	
調査先・研修名	ふじのくに地球環境史ミュージアム	
会場名 (会場所在地)	静岡県駿河区大谷 5762 番地 <del>静岡市</del>	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	にじの丘学園の開校に伴い発生した小学校跡地の有効活用の検討を行うにあたり、先進事例の1つである、県立高校を改築した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の視察を行うもの。	
議長名の依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	依頼先 (名称)
		ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長 安田 喜憲
同行者名	瀬戸市議会議員 三木 雪実・柴田 利勝・水野 良一 山田 治義・西本 潤・	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 2年11月27日

瀬戸市議会議長 様

議員名 小澤 勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和 2年11月18日
調査先・研修名	ふじのくに地球環境史ミュージアム
会場名(会場所在地)	静岡県静岡市駿河区 5762 番地
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	にじの丘学園の開校に伴い発生した小学校跡地の有効活用の検討を行うにあたり、先進事例の一つである静岡県立高校を改築した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の視察を行うもの。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
・学校跡地利活用の現地調査による視察 場所—静岡市駿河区・「ふじのくに地球環境史ミュージアム」 沿革 — 静岡県総合計画に平成7年度「自然系博物館の整備」を位置づける — 平成15年度より自然史資料の収集保管業務を開始 — 平成22年度より収集した資料を基に、ミニ博物館(展示)の教育普及活動開始 — 平成27年4月1日、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」を開設 — 平成28年3月26日、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の一般公開開始 — 平成29年6月23日、開館から累計入館者数10万人達成	

- 施設
- 所在地 ・ 静岡市駿河区大谷 5762
  - 施設規模 ・ 地上 3 階建 ・ 建築面積：約 3,569 m<sup>2</sup> ・ 延床面積 9,334 m<sup>2</sup>
  - 管理形態 ・ 県直営
  - 人員体制 ・ 館長、副館長、企画総務課 6 名、学芸員 6 名 計 14 名
  - 展示室 ・ 常設展示 10 室 ・ 企画展示室 2 室
  - 駐車場 ・ 自家用車 200 台、大型バス 6 台（無料）
  - 施設整備費 ・ 約 1.2 億円

理念 — “ふじのくに” の地域学の創造と人・交流・連携が導く知の拠点づくり

活動方針 — 地域の自然の歴史や環境の変化を把握するとともに、調査研究の成果を国際的な学術誌等への論文発表や著書など、一般への普及を前提に質の高い調査研究の推進。

教育普及 — 幼児から大人まで世代に応じた体験型講座等を開催し、移動ミュージアムや野外での自然学習講座などを全県で展開する。

観覧料 — 常設展：個人 300 円（大学生以下、70 歳以上、障害者等は無料）  
：団体 1 人につき 200 円（20 人以上）

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

Q. 来館者の構成比の中で、一般個人の方が 36.7% と構成比率が高いと考えますが、PR 活動の取り組みを伺う。

A. チラシ配布や HP 等の広報を行っておりますが、県内での移動ミュージックやミニ博物館の開催など参加された方などの口コミによる影響も大きいと考えます。

Q. 展示室（フロントヤード）とバックヤードの間にある講座室をミドルヤードと位置付けられてみえますが、そのねらいと成果について伺う。

A. 舞台裏のバックヤードでの標本づくりの活動の様子や調査研究の様子を公開することにより展示室までに並ぶ過程を理解していただき、より興味を持っていただき関心を寄せていただいていると思います。

## 調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

常設展示コーナーとして10室を「1. 地球環境史との出会い」・「2. ふじのくにのすがた」など10のテーマを設けて地球の豊かさ地球環境史から始まり、静岡の豊かな海に暮らす生き物とその恵みや静岡における人と自然の関りの歴史とその変化など、未来の生き方のヒントと生命文明の構築に向けた展示を行い、静岡県其自然環境と将来の地球環境を見つめた内容でした。また、その資料を県内に移動展示会やミニ博物館の展示などを中心とした活動を通して広め、教育環境にも生かす姿勢は参考になるものでした。

全国的にも1都道府県、1か所の自然博物館があると聞きます。愛知県においては、自然博物館は無く今後の事業整備が期待されているところです。

この視察を踏まえ、今後の学校跡地利活用に対し一つの指針となる機会でもあったと感じました。今後、財政運営の厳しさを踏まえ民間活用も含めた選択肢の広がりが出来たと捉えることもできる視察でした。

# 行程表

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
2 年 11 月 18 日	瀬戸市役所前	名鉄	往復	大曾根	14.8	km	820	円	円
	名古屋	新幹線	往復	静岡	185.8	km	12,540	円	円
								円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

13,360 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
							km		円
							km		円
							km		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
							km		円
							km		円
							km		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

13,360 円

申請額合計 (宿泊費+交通費-割引代)
13,360 円

## 瀬戸市役所前 → 静岡

2020/11/18(水) 08:57 出発

09:00発 → 11:23着 総額 6,680円

所要時間 2時間23分 乗車時間 1時間49分 乗換 2回 距離 210.4km

	経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
	○ 瀬戸市役所前				
09:00-09:21 21分	私 名鉄瀬戸線急行(栄町行)	やや前・やや後	410円		14.8km
乗換5分 待ち6分	○ 大曽根 2番線着				
09:32-09:45 13分	JR 中央本線(東海)(名古屋行)	やや前・後	3,410円		9.8km
乗換7分 待ち16分	○ 名古屋 8番線着 15番線発				
10:08-11:23 75分	新 こだま712号(N700系)(東京行)		↓	指定席 2,860円	185.8km
	○ 静岡				

## 記号の説明

△ … 前後の時刻表から計算した推定時刻です。

() … 徒歩/車を使用した場合の時刻です。

¥6680 × 2

= ¥13,360